



知育全体計画

令和7年度

(確かな学力向上全体計画)

志布志市立通山小学校

鹿児島県教育行政基本目標

「未来を拓く鹿児島の人づくり」

ふるさとを大切にし、世界へはばたく人材を育成する～ひとつべ鹿児島の教育

学校教育目標

人間性豊かで創造性に富み、心身ともにたくましい児童を育てる

かしこく・・・よく考え進んで学ぶ子ども
やさしく・・・明るく思いやりのある子ども
きょうりよく・・・健康で最後までやり抜く子ども

目指す子ども像

- ・自分の力で進んで考えることができる。
- ・友達と考えを深めることができる。
- ・学習したことを生活や次の学習に活かすことができる。

志布志市学校教育重点項目

- ・学力の向上・定着
- ・幼保小の円滑な接続
- ・小中一貫教育の研究
- ・キャリア教育の推進
- ・志学教室、夏休み学習教室
- ・ICTの積極的活用

知育に関する学校経営方針

「生きる力」を育むことを目指し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導形態・指導法で授業を行う。また、全ての教育活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能の習得、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力を育む。

【各教科の指導を行うに当たって】

- ◎ 人間尊重及び特別支援教育の考えに則った授業実践を行う。
- ◎ 学力検査分析、実態把握による個に応じた指導の工夫を行う。
- ◎ 少人数・T T指導を協働態勢で行う。
- ◎ 教材研究を行い、教科の特性を生かした指導を行う。
- ★ 基礎・基本の学力の定着を図る。
 - * 学期末テスト85以上
 - * 単元テスト80以上
 - * 定着度調査兼平均以上

【総合的な学習の時間の目標】

豊かな感性をもち、学び固や者の考え方を身につけ、主体的に取り組むことで、生きる力を育み、学ぶことの喜びを実感できる子どもを育てること

【生徒指導の目標】

- 教師と児童及び児童相互の心の触れ合いを通して、児童一人一人の情操を高める。
- 望ましい生活習慣の形成を図り、集団生活における基本的な生活習慣を身につけさせる。

本校における「確かな学力」

- よりよく生きていくための豊かな人間性や社会性
 - ・コミュニケーション能力 ・豊かな言語感覚 ・あいさつ
 - ・感動する心 ・思いやりの心 ・情緒の安定 ・敬虔
 - ・公共心 ・対人関係のバランス ・自信（健全な自尊心）
- 学ぶ力・生きる力
 - ・基礎基本の学力（読み・書・算をはじめ各教科内容）
 - ・学ぶ意欲（向学心） ・表現力・発表力
 - ・自ら学び考える力 ・主体的な判断と問題解決能力
 - ・読書の習慣 ・学び方 ・学習のしつけ
- * 確かな学力を支えるもの
 - ・基本的生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ご飯）
 - ・家庭学習習慣の確立（60・90運動）
 - ・健康の保持増進と体力の向上（外遊び）

【道徳教育の指導の重点目標】

- 児童自ら、道徳的価値の自覚を深め、日常生活の中で道徳的实践ができる人間性豊かな児童を育てる。
- 1 健康や安全に気を付け、身の回りを整え、規則正しい生活をする子
 - 2 身近な人に思いやりの心で接し、親切にする子
 - 3 生命の尊さを知り、生命を大切に思う子
 - 4 誰に対しても平等に接し、正義を重んじる子

【特別活動の指導の目標】

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てると共に、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

【キャリア教育の目標】

- ・自己及び他者への積極的関心を形成し、発展させる。
- ・身の回りの仕事や環境への関心・意欲を向上させる。
- ・夢や希望、憧れる自己イメージを獲得させる。
- ・勤労を重んじ、目標に向かって努力する態度を形成させる。

アクションプラン

通山小の学力向上に向けた取組

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研修・研究の工夫	学習評価の工夫	地域・家庭との連携
◎ 人間尊重の視点・特別支援教育の観点に立った個に応じた指導を行う。 *1 ◎ 「基本的学習のしつけ」 ◎ 書く活動の位置付け *2 ◎ 音読指導の充実 *3 ◎ 分かる授業を行う。 *4 ・通山スタイルの実践 ・「アシストシート」「よか問」等による学力の向上 ・教材教具(ICT)の効果的活用 ・「身に付けたい力」の徹底 *5 ・「国語力」言語活動の充実	◎ 子どもの理解に応じて指導を行う。 ◎ 特別支援学級の開設によるきめ細かな指導を行う。 ◎ 学習に関するPC教育コンテンツやデータを整理し、全ての学級からアクセスできる環境を構築し、活用する。 ◎ 学業指導・学習指導に関する内容を実践する。 ◎ 学力向上・家庭学習強調週間を計画的に実施する。	◎ 職員の連携・協働による「生きてはたらく研修」を行う。 ☆研究テーマ「 学ぶ楽しさ 」「 分かる・できる喜び 」を実感する 子どもの育成 ◎ 研究授業を通して、指導方法を学ぶ。(一人一授業) ◎ 自らの専門性を高めるための 個人研修を推進 する。 ◎ 幼小中連携を推進し、情報交換・合同研修を推進する。 ◎ 研究会や研究公開に計画的に参加し職員に還元する。	◎ 児童一人一人のよい点や進捗状況を知るための評価(単元テスト等)を行い、指導に生かす。(間違い直しを必ずさせる) ◎ 下記の評価検査等を使い、標準化された評価を行い、指導に生かす。 ・NRT・県学習定着度調査・全国学力学習状況調査・知能検査・学期末テスト *6 ◎ 授業中における自己評価・相互評価活動を積極的に行い、自他を認める心を培う。	◎ 「ほめて伸ばす教育」を家庭・地域と連携して行う。 ◎ 「早起き・早寝・朝ご飯」運動の啓発に努める。 ◎ 家庭学習の手引き *7 を活用し、家庭と連携して家庭学習の習慣化を図る。 ◎ 親子読書を推進する。 ◎ 市や地区の学力向上の取組に積極的に参加協力する。 ◎ 授業参観や学校行事を「子どもの良さを伝える」観点で行う。

表中の注釈

- *1** ; 授業チェック表(人権教育資料あだんP7)
- *2** ; 書く活動を一単位時間の中に、1回は、位置付けるようにする。
- *3** ; 授業で教科書を1回は読む
- *4** ; 本校の学習スタイル(学び合いの充実、振り返り充実)
- *5** ; 計画的な指導で達成させる。教育課程掲載
- *6** ; 令和4年度から、学校独自に作成し施
- *7** ; 机に向かう習慣をつけさせる。教育課程掲載

【ほめて伸ばす】

- 能力ではなく、努力をさせ、努力の過程をほめる。
- 善い行いを言ったらほめる。
- 善い行いができたらほめる。

【自信＝健全な自尊心】

- ・自分を信じる心
- ・やればできるという意欲と向上心
- ・周りの人から認められているという心の支え

自信